

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 L I X I L 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市長寿原二丁目 1 6 5 番地

(3) 業種

弁・同付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度(2015)を基準年度とし、令和4年度(2022)から令和6年度(2024)までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産高（百万円） 単位：t-CO₂/百万円

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成27年度 (2015年)	令和6年度 (2024年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	0.93	0.84	0.86	0.74	0.85			
		9.7	7.5	20.4	8.6	100.0	100.0	
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計	0.93	0.84	0.86	0.74	0.85			
		9.7	7.5	20.4	8.6	100.0	100.0	
エネルギー消費原 単位（原油換算 kl）	0.32	0.29	0.30	0.26	0.3			
		9.4	6.3	18.8	6.3	100.0	100.0	
実績に対する 自己評価	各工程にて改善を進められ効果が出ていると評価する							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	組立エリアレイアウト変更	32,775kg-CO2/年の削減	夜間の無駄な電力を削減するため、組立工程のレイアウトを行い、4か所に分散している組立エリアを2か所に集約。
2	生産体制の見直し	16,728kg-CO2/年の削減	鍛造工程を3直から2直にしたことでの電力量削減
3	生産効率化による加工設備台数削減	36,158kg-CO2/年の削減	生産設備の集約により、設備負荷の服くなくなったNC旋盤を廃棄（6台）
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。